



## 令和3年度 第71回卒業式 式辞

校長 小松 進一

日に日に暖かさを増し、正門の桜のつぼみも大きく膨らみ、今にも花開こうとしています。

77名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは本日をもって中学校3年間の全課程を修了されました。

この春の佳き日に、本来ならば、杉並区教育委員会をはじめ、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第71回卒業式を盛大に挙行いたしたところでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかったことに対して、卒業生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。皆様に深くお詫び申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、ただ今、一人一人に私なりの気持ちを込めて卒業証書を手渡しました。緊張した表情の中にも充実感や満足感を見ることができ、とても嬉しく、そして頼もしく思いました。振り返ると、皆さんがこの東原中学校に入学したとき、私は、皆さんにこのような話をしました。「実は、私自身も、新入生の皆さんと同じ東原中学校の1年生です。今この場でこうして話をしていますが、皆さんより緊張しているかもしれません。しかし、皆さんの立派な態度を見ていたら、私自身が勇気づけられ『よし、頑張ろう!』という気持ちになりました。」と……。皆さんの立派な態度と同時に、まだまだ小学生らしさを感じた入学式でした。あれから3年間、皆さんの成長は、計り知れないものがありました。特に皆さんの素晴らしさを感じ取ったのは、始業式や終業式でのア・カペラによる「校歌合唱」でした。1年生の時から練習を重ね、伝統を受け継ぎ、校歌への愛着と自信に満ちあふれた歌声を披露してくれたからです。そして、もう一つは、「運動会」や「合唱祭」の行事です。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容を縮小した形で実施しなければなりませんでした。「運動会」では、最上級生としての意識をもって、今までの歴史に恥じない、いや、今まで以上の「運動会」を成功させてくれました。種目が減ったことで手を抜くこともなく、何を後輩に残していくのか、心をつにして全力で競技する皆さんの熱い姿は、「自由と責任」という校風の中で感動を与え、最高の運動会を創り上げてくれました。また、「合唱祭」では、「一期一唱」をスローガンとして、『一生に一度しか出会わない仲間たちと思いを入れて歌おう』と心をつにして演奏してくれました。本番では、マスクを着用しての合唱でしたが、男子の力強い歌声と、女子の美しいハーモニーの調和が見事に花開き、会場全体を美しさの中にも迫力のある、最高学年にふさわしい、鳥肌が立つほどの合唱は、1、2年生はもちろん、私たち教職員や保護者の皆様に感動させてくれたことは今でも忘れることができません。このように、皆さんは「学校の顔」として、その後の学校生活においてもその存在感を示してくれました。

昨年12月に行った進路に向けた面接練習では、このような質問をしてみました。『中学校3年間で一番学んだことは何ですか?』ほとんどの卒業生が、『運動会や合唱祭でクラスみんなと力を合わせて一つのものを創り上げる大切さや人と人との関わり』と答えていました。『部活動での友人の大切さ』と答えた人もいました。将来、学校そのものが大きく変化をするかもしれない中で、学校で学ぶことの重要性を改めて教えてくれました。人と人が関わることで学ぶことがたくさんあるということです。それは家でパソコンに向かっていても体験することができない関わり方だと思います。私は、とても嬉しかったです。皆さんがこの中学校生活でたくさんの人と人との関わりを体験し、時には怒ったり、悲しんだり、喜んだり、そして、助けたり、助けられたり。また、人の考えを聞き、自分の考えを伝えることで自分自身を成長させることができたのではないのでしょうか。是非、このような体験を続けてほしいと思います。

ここで、卒業に際し、皆さんにお願いがあります。皆さんは、4月から高等学校で学び、さらには大学等に行って社会人となります。これからの社会や世界は、次々と変化し予想も困難となっていくでしょう。たとえば、現在のようなコロナ禍での生活はもちろんですが、皆さんの周りには多くの外国人の方々が暮らし、一緒に働く社会になっています。つまり、国際化しているということです。そのような社会の中では、「年齢や性別、国籍、人種、民族、宗教、障がい、性的指向」であることを理由とする差別をせず、これらの相違を個性として尊重し、多様性として受け入れることが大切です。そして、お互いの立場や生き方、考え方を聞き、理解を深めることと同時に自らの知識も深めてほしいと思います。これは、ダイバーシティという考え方で、予想困難な社会を生き抜くために必要な力となるでしょう。皆さんが将来、日本だけでなく、世界各地で活躍することを大いに期待しています。人と人が傷つけ合うことのない世界をつくってください。また、この地域の繁栄や東原中学校のサポーターとして帰ってきてくれることも期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。大切に育ててこられた保護者の方々の、今日の日の喜びも感慨も一入（ひとしお）のことと存じます。この3年間、本校にお寄せいただきましたご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、皆さんの東原中学校への貢献に敬意を表し、深く胸に刻みます。本当にありがとうございました。以上をもちまして、式辞といたします。

## 東原中学校を卒業する先輩方へ

在校生代表 山縣 優香

冬の厳しい寒さも和らぎ、春光うららかな季節となりました。3年間の中学校生活を終え、それぞれの道へ向かって新たな一步を踏み出される卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

初めて先輩方と出会った2年前の6月、新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活は大きく変わりました。当たり前が当たり前でない中学校生活の始まりに、大きな不安を抱えていた私たちを、東原中学校伝統の「あいさつ」で温かく迎えてくださった先輩方がいてくれたおかげで、不安や緊張が和らいでいったことを覚えています。縮小される学校行事、度重なる延期の果てに中止となった学年行事など、先輩方が夢見た中学校生活も思うようにできず、ぶつけようのない怒りを感じたこともあったと思います。

それでも、いつも危なげに歩く私たちの一歩前を歩き、部活動や委員会では優しく、時には厳しく私たちを導いてくださいました。何よりも、先輩方の存在の大きさを感じた場面は、運動会や合唱祭などの学校行事です。様々な制限がある中でも、それを感じさせないパフォーマンスに多くのことを学びました。全員リレーでのスピード感や美しいバトンパスに、3年間の技術がすべて詰まっているように感じました。また、ソーラン節での一糸乱れぬ力強い踊りは、伝統を引き継ぐとともに、東原中学校をさらに盛り上げていこうとする力強い想いを感じることができました。

合唱祭では、学年全員の心を一つにして創りあげられた圧巻の校歌合唱、そして、クラスで創りあげた「一期一唱」の合唱は、奇跡ともいえる2クラス同時金賞を飾りました。その時の、先輩方の涙に、また感動させられました。行事に参加するたびに、先輩方が固い絆で結ばれていることがひしひしと伝わってきました。

委員会活動や部活動でも、先輩方と交流する機会がありました。どんな状況であってもあきらめず、責任をもって最後までやりきる姿、やりきれない思いを抱きながらも最後の試合に向きあい、戦い抜いた姿に、努力することの大切さと、これが東原中生だという誇りを学ばせていただきました。先輩方がいたからこそ、私自身も、生徒会役員としての仕事をやりきることができたのだと思います。これからは、先輩方が行ってきた活動に負けないよう、1、2年生で一致団結して頑張っていきます。

この2年間、友人とのたわいもないおしゃべりもが貴重な時間になってしまった学校生活の中で、先輩方は、私たちが想像する以上に不安や苦勞も多かったのではないのでしょうか。しかし、先輩方が卒業をしてしまうと、コロナ禍以前の本来の東原中学校を知る生徒は一人もいなくなってしまいます。寂しい気持ちとともに、大きな不安でいっぱいです。それでも、今度は私たちが中心となり、先輩方が築かれた伝統を引き継ぎ、新しい東原中学校を創りあげ、盛りあげ、そして繋いでいきます。

先輩方と過ごした日々は、私たちにとって大切な宝物です。楽しいことばかりの3年間ではなかったかもしれませんが、つらいこともたくさんあったと思います。この先、先輩方が進まれる道には、楽しいことや希望など、輝かしい未来に満ち溢れています。私たちは、同じ空の下、先輩方のことを、ここ東原中学校からいつでも応援しています。

最後になりましたが、卒業生の皆さまのご健康と、これから歩まれるそれぞれの道でのご活躍をお祈りし、送る言葉とさせていただきます。

3月17日の送別式にて披露

### 《主な行事予定》

- 4/6日(水) 始業式・着任式・入学式準備
- 7日(木) 入学式
- 8日(金) 新入生オリエンテーション・避難訓練
- 11日(月) 朝礼・全校集会・新入生歓迎会  
定期健康診断始
- 13日(水) 生徒手帳写真撮影
- 15日(金) 保護者会
- 16日(土) 土曜授業・身体計測
- 18日(月) 専門委員会・学校委員会
- 19日(火) 国学力調査(3年)
- 21日(木) 歯科検診
- 22日(金) 安全指導・地区班集会・色覚検査  
離任式

### 《保護者・地域の皆様へ》

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため学校公開や授業公開の中止等、保護者及び地域の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。皆様の本校へのご協力とご支援に感謝申し上げます。

新年度につきましては、しばらくの間、制約の中での教育活動となりますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。